

## ■ 適合規格

CISPR11、CISPR14、CISPR22、CISPR32  
FCC Part 15 Subpart B、VCCI 等

## ■ 基本測定機能

### ● レンジ測定 (スペクトラムデータの取得)

最終認定試験のプリテスト及び EUT の対策測定を行います。測定条件にしたがってスペクトラムデータの最大値を取得します。この時、擬似電源回路網の相切り替えは自動で行うことができます。

### ● 候補リスト作成 (QP・AV 測定すべき妨害波の選択)

スペクトラムデータよりピーク値を自動又は手動でピックアップします。自動の場合、限度値からマージンの少ない順に条件で設定された数の妨害波をピックアップしリストを作成します。

### ● 妨害レベル測定 (QP・AV 測定)

ピックアップした各周波数について QP・AV 測定を行います。

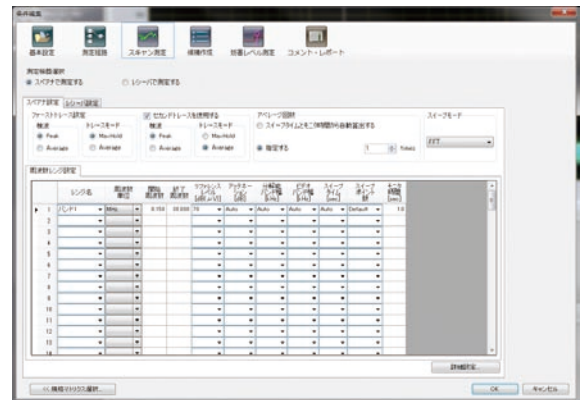
## ■ 特長

### ● FFT スイープ New

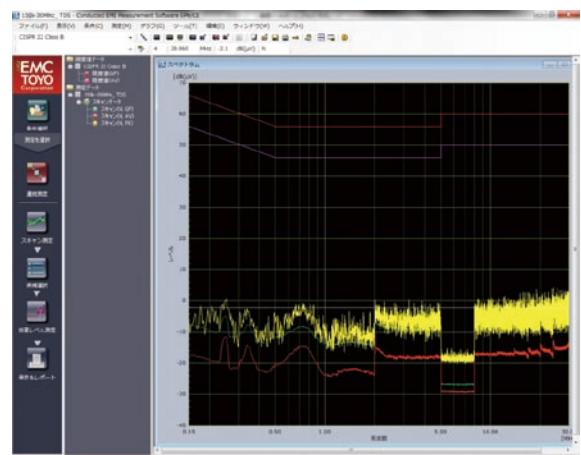
EMI テストレシーバの FFT 機能を使用して最終測定を行い、150kHz から 30MHz までのピーク値・QP 値・AV 値を同時に取得します。この場合、プリテストを実施する必要がなく測定時間を短縮することができます。

## ■ 測定レンジの設定

測定する周波数範囲と、スペクトラムアナライザの設定をレンジ毎に行います。設定できる測定レンジは最大 100 レンジです。



スペアナ・レシーバの測定レンジ設定画面



FFT 機能を使ったスペクトラムデータ